東京電機大学大学院　先端科学技術研究科　平成26年度　講義要目(シラバス)

科目名	情報環境先端演習
英文名	Advanced Topics on Information Environment
学部学科	先端科学技術研究科　情報通信メディア工学専攻
配当学年	1･2･3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	小林　浩

目的概要	インターネットは地球規模の情報通信基盤を担い，あらゆる文化的，社会的，経済的活動にとって不可欠な存在になってきたが，同時に人類にとって大きな脅威にもなってきた．その一つは2011年度1兆米ドルの損害を与えたとされるサイバーテロ攻撃であり，もう一つは偏差値が高く新しいことに積極的な若者ほど罹患しやすいインターネット依存症である．本講義はこうしたインターネットがもたらした負の側面に正面から立ち向かい，広い視野に立って総合的な解決策を提案できる人材の育成を目的に，インターネット工学，セキュリティ工学，社会心理学，嗜癖医療学などに係る最先端の知識と技術を，学内外の研究者との共同プロジェクトを通して修得させる．
教科書名	特に指定しない．学生が自ら検索するようにする．または研究や論文の進捗状況に応じて紹介する．
参考書名	特に指定しない．学生が自ら検索するようにする．または研究や論文の進捗状況に応じて紹介する
評価方法	活動内容の報告書，成果物，プレゼンテーションに基づいて評価する．
テーマ･内容	(1) サービス妨害迎撃ネットワーク 年々巧妙化･組織化しているサイバー攻撃は，これまでの「自分を守ろうとするセキュリティ技術」では防ぐことができず，インターネット全体での対策が必要である．そのポイントは，送信元IPアドレスを詐称したパケットをインターネットに流入させない，ユーザサイトにおいてもインターネットに流出させないことにある． (2) ネット依存対策技術 依存症を専門とする久里浜医療センターの調べでは，ネット依存症が疑われる者は全国で300万人以上にのぼるとしているが，国際的な診断基準や治療法が未確立なのが実情である．対策のポイントは，インターネット上を流れる無数のパケットのヘッダ情報を収集し，その中からネット依存を誘発する疑いのあるサイトとその被害状況を早期に発見し，サイトに対してコンテンツの制作ガイドラインの提示/サービス修正要求を出すこと，ユーザに対してはネット依存危険サイト情報の提供/自分(と保護者と)でネットアクセスの行動基準を作成し，この基準を越えたときに警告や利用制限などの措置を行うことにある．
E-Mail address	hirokoba@mail.dendai.ac.jp
履修上の注意事項･学習上の助言	研究指導教員及び研究プロジェクト参加者との連携を密に取り，効率的に研究を進めていくことが望まれる．